

# Ⅲ章 保健衛生部門

## 1 地域保健対策強化の概要

平成9年4月に地域保健法が全面施行され、保健所は地域保健の広域的、専門的かつ技術的拠点として位置づけられた。また、平成24年7月の「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」の一部改正をふまえ、大分県では、機能強化に向けて、①健康なまちづくりの推進 ②専門的かつ技術的業務の推進 ③情報の収集、整理及び活用 ④調査及び研究等の推進 ⑤市町村に対する援助及び市町村相互間の連絡調整の推進(人材育成を含む) ⑥地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化 ⑦企画及び調整の機能の強化の7項目について保健所企画調整部門活動指針に掲げている。平成30年度、当保健所では特に下記の項目について重点的に取り組んだ。

### (1) 企画及び調整の機能の強化

保健所は、地域の持つ課題に対する施策の企画立案及び関係機関との連携による施策の実施など広域的、専門的かつ技術的拠点としての機能を総合的に発揮することを目指している。

#### 1) 大分県東部保健所運営協議会の開催

地域住民の意見を十分反映した保健所業務の運営を行うため、地域保健法(昭和22年法律第101号)第11条及び大分県保健所運営協議会条例(昭和31年大分県条例第70号)第1条に基づき、管内住民の代表者で構成される大分県東部保健所運営協議会を設置し、関係機関等との有機的連携のもとに地域保健対策を総合的に推進した。

なお、協議会は地方自治法第138条の4第3項に基づく県の附属機関として位置づけられている。

平成30年度

実施日	場所	出席者	議題
H30.9.5	別府土木事務所会議室	運営協議会委員、 保健所職員 31人	・東部保健所管内の概況 ・東部保健所行動計画 ・東部保健所・国東保健部・地域福祉室の取組について

資料：東部保健所調べ

#### 2) 東部保健所企画調整会議の開催

地域保健法及び基本指針に基づく保健所の機能強化を目指して、各課を横断した総合的な活動を展開するために、保健所の運営方針、取組内容等について検討を行った。

平成30年度

会議名	回数	構成メンバー	議題
企画調整会議	13回	所長、次長、国東保健部長、 地域福祉室長、各課長、 各班総括、企画調整担当	・保健所行動計画の策定及び評価 ・健康危機管理体制整備に向けた計画立案、 推進方策の検討・評価の実施 ・各種横断的会議、事業等の企画及び評価等

資料：東部保健所調べ

### 3) 東部地域医療構想調整会議の開催

大分県地域医療構想の策定を受け、管内における効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するため、関係者とともに医療機能の分化・連携の推進等について協議を行った。

平成 30 年度

実施日	場所	出席者	議題
H30. 7. 23 (第 1 回)	別府豊泉荘	医師会、歯科医師会、 薬剤師会、医療関係者、 大分県後期高齢者医療広 域連合、看護協会、 地域包括支援センター、 消防署、別府市、杵築市、 日出町、国東市、姫島村	(第 1 回) ・平成 29 年度病床機能報告 (暫定) ・新公立病院改革プラン等
H31. 2. 27 (第 2 回)			(第 2 回) ・平成 29 年度病床機能報告 (確定) ・地域医療に関するデータ報告等

資料：東部保健所調べ

### 4) 在宅医療・介護連携の推進

団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目処に、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の医療・介護の関係団体が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を一体的に提供できる体制整備を推進している。

平成 30 年度から、在宅医療は市町村施策（地域支援事業）に移行したことから、保健所は圏域内の調整や医療機関同士の連携を進めるために、以下の取り組みを行った。

#### ① 東部圏域医療・介護連携担当者連絡会の開催

また、平成 28 年度から東部圏域医療・介護連携担当者連絡会を開催し、圏域市町の医療介護連携担当職員の情報共有を行うとともに、各市町、保健所で実施する研修会（圏域研修会）を相互乗り入れ可能として、関係者の研修機会の確保に取り組んでいる。

平成 30 年度

実施日	場所	出席者	議題
H30. 4. 23	東部保健所	管内市町の 担当担当者 ・別府市 ・杵築市 ・日出町 ・国東市  保健所担当者 保健部担当者	・平成30年度各市町の在宅医療・介護連携事業について ・東部圏域研修会の計画について
H30. 9. 21			・情報共有ルール運用状況調査について ・地域連携室情報交換会の開催に検討 ・在宅医療介護相談窓口について
H31. 2. 7			・情報共有ルール運用状況調査を踏まえた検討 ・次年度計画について

資料：東部保健所調べ

#### ② 入退院時情報共有ルール運用状況調査の実施

患者のスムーズな在宅移行に向けて、医療機関とケアマネジャーの双方が情報を共有し、確実に引き継ぐために「どのような患者について、どのタイミングで、どのような情報を共有するか」について地域毎にルール化した「入退院時情報共有ルール」について、東部圏域では、平成 27 年度にルールを策定、平成 28 年度から運用を開始し、医療機関と介護支援専門員等との双方向の連携をすすめている。

導入後 2 年が経過したことから、管内の 31 医療機関に運用状況に係るアンケート調査を実施した。

### ③ 医療介護連携推進のための地域連携室連絡会の開催

東部圏域医療・介護担当者連絡会での提案を受け、地域連携室等で入退院にかかわる医療機関職員による連絡会を開催。各医療機関の機能等について情報交換を行い、管内の医療機関の連携促進に取り組んだ。

平成 30 年度

実施日	場所	出席者	議題
H30. 10. 24	厚生連 鶴見病院	医療機関職員 68人(25病院) 市町担当者 7人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換（各医療機関の機能について）</li> <li>・事例検討</li> </ul>
H31. 3. 6		医療機関職員 70人(27病院) 市町担当者 7人	

資料：東部保健所調べ

## (2) 地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化

保健所は健康危機事案発生時の未然防止に努め、事案発生時には迅速かつ適切な対応を行い、健康危機管理の拠点として地域住民の安全な暮らしを守ることを目指している。

そこで、平常時の体制整備（健康危機発生時の未然防止、体制の構築）、発生時の関係機関との連携による迅速・適切な対応力向上に向けて、各種の取組を推進した。

### 健康危機管理体制の構築

平成 15 年度から、健康危機事案発生時の所内体制の整備を目的として、全職員を対象にした所内研修等を実施している。

平成 30 年度は、地震、風水害等の災害発生時に保健所職員が対応する必要がある EMIS 代行入力研修を実施したほか、PPE 着脱訓練や感染症患者移送車両の取扱研修等を実施した。特定家畜伝染病（高病原性鳥インフルエンザ等）については、県関係部局、市町村、関係機関と連携して防疫演習に参画し、発生時の役割等を確認した。

新興・再興感染症対策では、平成 29 年度に引き続き、福岡検疫所大分・佐賀出張所が主催する新型インフルエンザ等患者搬送訓練（「大分空港新型インフルエンザ」患者搬送訓練）に参画し、感染症患者移送車両の運用訓練を行った。

平成 30 年度

	主催者及び実施日	内容等	参加者等
健康危機管理 連絡会議	東部保健所 H30. 8. 24	<ul style="list-style-type: none"> <li>①健康危機管理体制について</li> <li>②災害時の医療体制について</li> <li>③感染症等をめぐる動向について</li> </ul>	医師会、歯科医師会、医療機関、消防本部、警察署、管内市町村、東部振興局、別府教育事務所、東部保健所、国東保健部
職員研修	東部保健所 ①H30. 9. 6 ②H31. 2. 12 ③H31. 3. 20 ④H30. 11. 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>①鳥インフルエンザ対応 PPE 着脱訓練</li> <li>②広域災害救急医療情報システム（EMIS）入力訓練</li> <li>③1類感染症を想定した PPE 着脱訓練、新型感染症患者搬送車両取扱説明</li> <li>④災害時アクションカード運用訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①東部保健所及び別府土木事務所職員</li> <li>②東部保健所職員</li> <li>③東部保健所職員</li> <li>④東部保健所職員</li> </ul>

シミュレーション	①東部振興局 H30. 10. 2 ②東部保健所 H30. 8. 10 ③東部保健所 H30. 9. 7	①東部地区特定家畜伝染病防疫演習 (管内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生したという想定で演習を実施) ②新型インフルエンザ帰国者・接触者外来訓練 (図上演習を通じて、連絡体制や患者の受け入れ手順を確認) ③避難所運営訓練 (演習を通じて、避難所で起き得る状況の理解と対応について確認)	①東部振興局、宇佐家畜保健衛生所、土木事務所、管内市町、東部保健所、国東保健部等 ②東部保健所、国東保健部、管内医療機関 ③東部保健所、管内市町
各種情報提供	県、保健所ホームページ	健康危機管理に関する各種情報提供 ・感染症発生動向調査「あなたの街の感染症情報」の活用 ・東部保健所ホームページに情報掲載 ・市町村報、新聞等への情報提供	対象：住民、関係機関等
	iFaxによる情報送信	随時	管内関係機関
管物品		健康危機管理に必要な機器、機材及び物品の整備	

資料：東部保健所調べ

### (3) 人材育成

#### 1) 看護学生等実習生指導

##### 【東部保健所】

平成 30 年度

施設名	受入人数	受入期間
大分県立看護科学大学 (学部生)	9人	H30. 5. 7～7. 6 (4日間、3グループ)
大分県立看護科学大学 (大学院生)	1人	H30. 11. 5～12. 7 (5週間)
別府医療センター附属大分中央看護学校	25人	H30. 4. 23～10. 3 (3日間、5グループ)
大分大学医学部看護学科	10人	H30. 11. 12～H31. 1. 25 (4日間、2グループ)
計	45人	

資料：東部保健所調べ

##### 【国東保健部】

平成 30 年度

施設名	受入人数	受入期間
大分県立看護科学大学 (学部生)	8人	H30. 5. 7～25 (4日間、2グループ)
大分大学医学部看護学科	2人	H30. 1. 7～1. 10 (4日間)
計	10人	

資料：東部保健所調べ

#### 2) 公衆栄養学臨地実習指導

平成 30 年度

施設名	受入人数	受入期間
九州栄養福祉大学 別府大学	3人	H30. 10. 1～10. 5 (5日間)
別府大学	4人	H30. 10. 1、H30. 10. 9～10. 12 (5日間)
	2人	H30. 10. 1、H30. 10. 16～10. 19 (5日間)
	4人	H30. 10. 1、H30. 11. 13～11. 16 (5日間)
	4人	H30. 10. 1、H30. 11. 19～11. 22 (5日間)
計	17人	

資料：東部保健所調べ

### 3) 管内保健師の人材育成

#### ① 東部保健所管内地域保健・福祉従事者会議

平成 30 年度

実施月	場 所	時間	回数 (延)	参加者数 (延人員)	内容
H30. 4月 ～ H31. 3月 ※7月豪雨のため 中止 ※8月休会	・東部保健所 ・管内各市役所 ・町役場	13:30 ～ 15:30	10回	行政機関に 勤務する保 健師 285人	テーマ 「地域特性に応じた健康なまちづくりの推進」 「部署横断的な保健活動の連携および協働」 ①上記テーマについて『災害対策』と『まちづくり』を切り口にした検討及び取り組み報告等 ②グループワーク、演習

資料：東部保健所調べ

#### ② 国東保健部管内地域保健活動研究会

平成 30 年度

実施月	場 所	時間	回数 (延)	参加者数 (延人員)	内容
H30. 4月 ～ H31. 3月	国東総合庁舎、国 東市国東保健セン ター	13:30 ～ 16:00	12回	227名	テーマ「PDCAサイクルに基づいた地域保健活動 を展開しよう！」 1 事例検討 2 私の保健活動（取組報告） 3 グループワーク 4 各機関からの情報提供 等

資料：東部保健所調べ

### 4) 新任期保健師の人材育成

平成 26 年 3 月の厚生労働省健康局通知「地域における保健師の保健活動について（保健師活動指針）」において、保健師の保健活動の基本的な方向性の 10 項目の 1 つに「地域診断に基づく PDCA サイクルの実施」が示された。

県医療政策課がおこなう新任期保健師研修会と連動し、地域診断の実際を学び、効果的な保健活動が展開できる能力を養うことを目的に、研修に取り組んだ。

平成 30 年度

	実施日	内容等	対象者等
地域診断の 実践	H30. 4月 ～H31. 3月	各市町村の人口動態・人口静態、 死因統計データ等の収集・加工・読 み取りを通して、各市町村の地域保 健の現状を整理した。 これに加え、自分の担当業務に関 連して、保健師自身が取り組むべき 活動は何かを明らかにしていくこと ために、日頃の地区活動から得られた 質的情報をまとめ、考察した。	採用1～3年目の新任期保健師 14人 ※指導保健師は、随時、新任期保健 師と相談しながら、地域診断に一 緒に取り組んだ。
地域診断 研修会	①H30. 7. 31 (県医療政策課主催) ②H30. 8. 9 (東部保健所主催)	・県医療政策課主催の新任期保健師 前期研修において、保健師活動の基 盤となる地域診断の目的等について 学んだ。 ・東部管内で実施した研修会（情報 交換会）では、7/31研修の振り返 り、到達目標の確認、管内市町及び 保健所・保健部の新任期保健師と指導 保健師で、取り組み状況の共有等 を行った。	新任期保健師 指導保健師等

地域診断実践報告会	①H31. 2. 8 (県医療政策課主催) ②H31. 2. 28 (東部保健所) ③H31. 2. 27 (国東保健部)	地域診断の実践を踏まえ、新任 保健師が、各地域の保健統計、健康 状態、担当分野における優先して取 り組むべき健康課題等について報告 し、関係者で共有を行った。	新任保健師 指導保健師、担当課長等
-----------	--	---	----------------------

資料：東部保健所調べ

### 5) 自治医科大学生の地域医療実習

保健福祉行政等の実際を学び、地域・医療・保健・福祉・行政の各分野で活躍できる人材の育成を目的として自治医科大学が5年生を対象に行う地域医療実習について、実習生の受入れを行った。

平成30年度

実施日	場所	受入人数	内容
H30. 11. 12 ～11. 16	東部保健所 救護施設「渓泉寮」 姫島村国民健康保険診療所 等	4人	東部保健所の概要、所管業務に関する説明のほか、各種検査業務への同行、診療所訪問を行うことで、保健福祉行政に関する実践的体験の機会等を提供した。

資料：東部保健所調べ

### 6) 保健所における医師臨床研修

医師法第16条の2第1項の規定に基づき、研修医に向けた研修を行うことで、保健所の役割に関する理解し、医療を必要とする住民に対して地域保健や健康増進等に関する実践的な取組ができる能力が得られるよう、所管する業務全般について研修を行った。

平成30年度

実施日	場所	受入人数	内容
H30.7.17 ～7.31 (第1回)	東部保健所 救護施設「渓泉寮」 中央児童相談所 東部保健所国東保健部等	2人	東部保健所の概要、所管業務に関する説明のほか、検査業務への同行、医療関係会議への出席、乳幼児検診への参加等を行うことで、保健福祉行政に関する実践的体験の機会等を提供した。
H31.1.17 ～1.31 (第2回)			(大分県立病院、別府医療センターから各1名)

(4) 地域健康課題対策推進事業

大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」に掲げる「健康寿命日本一」を実現するため、平成28年度に「県民意識行動調査」を実施した。調査の結果、市町村ごとの健康課題の要因となる生活習慣の地域差が明らかとなったことから、地域差の縮小に向けた対策の強化、課題解決に向けて市町村が実施する事業に対して支援を行うことにより、健康課題の地域差の縮小と健康寿命の延伸を図るため、以下の取組を実施した。

平成30年度

	健康課題	内容	参加者						
別府市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺がん検診受診率が低い</li> <li>・肺がんのSMRが高い</li> </ul>	<p>【別府市（補助事業）】</p> <p>1 肺がん検診受診体制の充実</p> <p>(1) 自治委員の希望による出張肺がん検診の実施</p> <p>(2) イベント及び特定健診とのコラボレーション</p> <p>2 肺がん検診対象者への受診勧奨及び再受診勧奨</p> <p>(1) 受診勧奨（コール事業）</p> <p>(2) 再受診勧奨（リコール事業）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内健診センター</li> <li>・全国健康保険協会大分支部</li> <li>・労働基準監督署</li> <li>・地域産業保健支援センター</li> <li>・各種団体（ホテル旅館組合、飲食業組合等）</li> <li>・健康寿命日本一おうえん企業</li> <li>・別府市</li> </ul>						
		<p>1 がん検診受診率向上プロジェクト会議</p> <p>受診率向上に向け関係機関と連携した取組等について検討</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>参加機関</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回会議 H30.6.12</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協会けんぽ</li> <li>・管内の健診機関</li> <li>・旅館ホテル組合</li> <li>・管内市町</li> <li>・県健康づくり支援課</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>①別府市肺がん検診受診勧奨対策の検討</li> <li>②杵築市・日出町の肺がん検診受診率向上対策の共有・検討</li> <li>③各関係機関の取組</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>第2回会議 H31.1.23</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分労働基準監督署</li> <li>・地域産業保健支援センター</li> <li>・協会けんぽ</li> <li>・管内の健診機関</li> <li>・旅館ホテル組合</li> <li>・飲食業組合</li> <li>・管内市町</li> <li>・県健康づくり支援課</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>①健診機関における受診率実態把握結果の共有</li> <li>②別府市の肺がん検診受診率向上対策の共有・検討</li> <li>③各関係機関の取組</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>			参加機関	内容	第1回会議 H30.6.12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会けんぽ</li> <li>・管内の健診機関</li> <li>・旅館ホテル組合</li> <li>・管内市町</li> <li>・県健康づくり支援課</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①別府市肺がん検診受診勧奨対策の検討</li> <li>②杵築市・日出町の肺がん検診受診率向上対策の共有・検討</li> <li>③各関係機関の取組</li> </ul>
	参加機関	内容							
第1回会議 H30.6.12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会けんぽ</li> <li>・管内の健診機関</li> <li>・旅館ホテル組合</li> <li>・管内市町</li> <li>・県健康づくり支援課</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①別府市肺がん検診受診勧奨対策の検討</li> <li>②杵築市・日出町の肺がん検診受診率向上対策の共有・検討</li> <li>③各関係機関の取組</li> </ul>							
第2回会議 H31.1.23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大分労働基準監督署</li> <li>・地域産業保健支援センター</li> <li>・協会けんぽ</li> <li>・管内の健診機関</li> <li>・旅館ホテル組合</li> <li>・飲食業組合</li> <li>・管内市町</li> <li>・県健康づくり支援課</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①健診機関における受診率実態把握結果の共有</li> <li>②別府市の肺がん検診受診率向上対策の共有・検討</li> <li>③各関係機関の取組</li> </ul>							
杵築市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯が27本以下の人の割合が高い</li> <li>・定期的な歯科健診受診率が低い</li> </ul>	<p>1 糖尿病患者への口腔ケアの推進</p> <p>市の特定健診を受診した糖尿病患者のうち、市内にかかりつけ医がいる、同意が得られた4事例にモデル的に介入し、3ヶ月後に評価を実施。</p> <p>2 評価会議</p> <p>(1) 歯科保健対策全般に関する評価会議</p> <p>回数：5回（H30年6月～H31年3月）</p> <p>参加者：産業保健担当者、教育関係者、行政関係者</p> <p>内容：ライフステージに応じた歯科保健対策について、関係者で評価、効果的な施策について検討</p> <p>(2) 糖尿病患者への口腔ケアの推進に関する評価会議</p> <p>日時：H31.2.15（金）13:30～15:00</p> <p>場所：杵築市健康推進館</p> <p>内容：報告「糖尿病治療中患者への歯周病健診勧奨訪問指導結果」</p> <p>情報共有・意見交換「関係機関の取組」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杵築市</li> <li>・杵築市日出建設業協会</li> <li>・健康寿命日本一おうえん企業</li> <li>・健康経営事業所</li> <li>・歯科衛生士会</li> </ul>						

・塩分摂取量が県内で一番高い

【日出町（補助事業）】

- 1 尿中塩分測定検査の実施  
特定健康診査受診者、延べ1,387人に実施。同時に、塩分チェックシートによる食習慣調査を実施。
- 2 節塩に特化した健康教室の開催  
(1) 医療機関向け説明会及び研修会の開催  
(2) 健康教室の実施
- 3 節塩対策イベントの実施
- 4 尿中塩分測定検査及び食習慣調査の結果分析  
結果分析を行い、高塩分摂取の食習慣を抽出。
- 5 住民組織との協働による節塩普及活動  
地域での味噌汁の塩分測定や試飲、住民組織主催の節塩の健康教室の開催等。
- 6 節塩推進プロジェクトチーム会議の開催

時期	内容
H30.8.2 推進会議	節塩の環境整備の検討
H30.10.25 推進会議	節塩の環境整備の検討
H30.8.2 分析会議	事業の評価

- 1 尿中塩分測定検査等による塩分摂取の見える化  
日出町内の健康経営登録事業所10事業所352人に尿中塩分測定検査を実施。同時に、塩分チェックシートによる食習慣調査を実施。
- 2 減塩に特化した健康教室（適塩チャレンジ）の実施  
尿中塩分測定結果を踏まえ、4事業所（延103人）で教室を開催。
- 3 尿中塩分測定検査結果等の分析  
尿中塩分測定検査及び適塩チャレンジを実施した事業所のうち、2事業所59人に評価の目的で2回目の尿中塩分測定検査を実施。
- 4 節塩推進プロジェクトチーム会議の開催  
日出町と共催で計3回のプロジェクト会議を開催。

- ・節塩推進プロジェクト会議の参加機関（医療機関、住民組織、飲食店、スーパー、商工会、JA、事業所）
- ・健康経営事業所
- ・別府大学
- ・新別府病院
- ・健康寿命日本一おうえん企業
- ・健診機関
- ・うま塩メニュー提供店
- ・別府市
- ・杵築市
- ・日出町



<p>国東市・姫島村</p>	<p>1 肥満 BMI25.0 以上の割合が国東市（40～64歳）、姫島村（20～64歳）とともに高い。</p> <p>2 食生活 ・国東市 醤油、砂糖、ジュース類の摂取が平均よりも多い。 ・姫島村 醤油、麺スープ、アルコール摂取が平均よりも多い。</p>	<p>1 うま塩ヘルシー弁当・メニュー提供店舗の開拓 （基準：熱量 700kcal 未満、食塩相当量 3g 未満） 委託先である大分県栄養士会と連携して実施。 (1) 飲食店も加えた協力店舗の拡大 ・新規店舗の開拓 12 店舗（国東市 11 店舗、姫島村 1 店舗） ・既存店舗における新メニューの追加 2 店舗 (2) 「うま塩ヘルシー弁当提供店」の意見交換会の開催 日時：H30.6.28（木） 参加店舗数 7ヶ所 (3) 栄養士会との連携会議（進捗会議）の開催 計 4 回</p> <p>2 完成したうま塩ヘルシー弁当・メニューの周知 各市村や健康経営事業所等と連携して、活用の定着及び促進を図った。 (1) 国東市「食と健康のフォーラム」でうま塩ヘルシー弁当試食会を開催 日時：H30.12.22（土） 参加者：169 名 (2) 地域・職域連携推進会議での啓発 第 1 回 日時：H30.9.4（火） 参加者：22 名 第 2 回 日時：H31.3.5（火） 参加者：24 名 (3) 医療機関へ提供店マップを配布 25 カ所 (4) うま塩ヘルシー弁当の日を週 1 回設定し、庁内放送を実施（大分県国東総合庁舎内） (5) 管内の健康経営事業所等へ完成した弁当のチラシや提供店マップをメール等で提供（随時） (6) 特定給食施設栄養士研修会、看護ネットワーク会議、歯科保健検討会等で提供店マップを配布 (7) 東部保健所・国東市ホームページへの提供店マップの掲載、ケーブル TV による啓発、国東市報や国東食品衛生協会報への関連記事掲載</p>	<p>・国東市 ・姫島村 ・大分県栄養士会 ・健康経営事業所 ・飲食店、弁当・惣菜店等</p>
----------------	--	--	---

資料：東部保健所調べ